あなたの一歩が、いのちをつなぐ

目の前で人が倒れていたら、あなたはどうしますか…？

私たちは、いつ、どこで、突然のけがや病気におそわれるか分かりません。
もしものとき、何をすればいいのか分からず、戸惑ってしまうのは、
誰にでもあることです。大切なのは、まず一歩を踏み出すこと。
その場にいるあなたの行動が、命をつなぐ大きな力になります。

今回の巻頭記事では、救命処置の基本的な流れや映像伝送システム、
AEDの設置場所について紹介します。

救命処置の流れ・AEDの使い方

❶反応の確認

軽く肩をたたきながら、
大声で呼びかける

反応がない場合

❷119番通報・AED手配

大声で周りの人に助けを求める
（救急車を呼んでもらう・AEDを持ってきてもらう）

❸心臓マッサージ開始（胸骨圧迫）

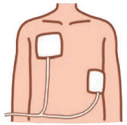
胸骨圧迫30回を繰り返す
胸の真ん中を真上から圧迫する
※できる人は人工呼吸２回も追加

強く！（約５cm）
早く！（100～120回／分）
絶え間なく！

❹AEDを使用

音声に従って操作すれば、誰でも簡単にAEDを使用できます

電源を入れ、イラストを参考に
電極パッドを素肌に貼る ➡ AEDが電気ショックの要否を解析
必要であれば電気ショックを行う



女性への配慮
・必ずしも全て脱がす必要はありません。
・パッド貼付後に、上からタオルや衣類をかけてもOKです。

普段どおりの呼吸が戻る、または救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生とAEDを繰り返す

救急車が到着するまで
全国平均で約10分

救命処置を行うと…
何もしない場合と比べて、生存率は**約1.9倍**になります！

安心してください！

119番の先にもサポートがあります！

救命処置の流れが分かっても
自分にできるか不安…

やったことないし、実際にやるのはこわいな…

自分１人で判断しないといけないの…？

間違えて悪化させたらどうしよう…

映像伝送システム（Live119）

**映像伝送システム（Live119）は、
現場と消防をリアルタイム映像でつなぐシステムです。**

埼玉東部消防組合管内で119番通報した際、スマートフォンのカメラを使い、現場の映像を指令センターに送ることができます。言葉では伝えるのが難しい場面でも、映像を通して状況を共有しながら、指令員から応急手当の方法など、必要なサポートを受けることができます。

埼玉東部消防組合
高機能消防指令センター

操作手順

❶ 撮影中も音声が聞こえるよう、電話の音声をスピーカーにする

❷ 消防から受信したショートメッセージを開いてURLへアクセスし、ブラウザでLive119を起動

❸ 音量を上げて、スマートフォンを横向きにし、ビデオカメラボタンをタップして撮影を開始

❹ 映像が消防指令センターに転送される

通常の119番通報でも、電話越しにサポートがあります

119番通報では、通信指令員が状況を確認しながら、必要に応じて胸骨圧迫などの救命処置を電話で案内します。何をすればいいか分からなくても、指令員の案内に従って行動することができます。

※Live119は、株式会社ドーンの商標です。

AEDの場所を知っておくこと、実際に救命処置を体験しておくことも、いざという時の安心につながります。

普通救命講習会

日 11月28日㈯ 9時～12時／受付8時45分
場 埼玉東部消防局 鷲宮分署 講堂
内 心肺蘇生法、AED使用法など
※講習会終了後に普通救命講習修了証を交付します。
講 埼玉東部消防組合 消防職員
対 中学生以上の市内在住・在勤・在学者
定 20人（申込順）
持 筆記用具、動きやすい服装（スカート不可）
申問 10月19日㈪～30日㈮に、電子申請・直接・FAX・メール・電話で、健康医療課地域医療係（FAX22-3319／✉kenkoiryo@city.kuki.lg.jp／内線3426）へ

AEDの設置場所

市内のさまざまな場所で、
AEDを使用できる環境が広がっています。

小・中学校、義務教育学校の屋外
公共施設
運動施設等の屋外
民間事業所等
商業施設

AED設置場所（公共施設）一覧はこちら▶

AEDを設置している事業所等を「AED使用協力事業所」として認定・公表し、緊急時に無料で貸し出していただいています。民間事業所等のご協力により、多くのAEDが使用可能となりました。

AED使用協力事業所認定事業のご案内▶

「自分にもできる」と思えることが いざというとき、一歩を踏み出す力になります。

「市×ケーブルテレビ×埼玉東部消防組合」で制作！
救命に役立つ情報を動画で紹介しています▶